

## 平成27年度気象学会東北支部気象研究会・仙台管区気象台東北地方調査研究会 合同発表会次第

日時：平成27年12月7日（月）10時30分～17時15分

仙台第3合同庁舎 2階大会議室

I 開 会	仙台管区気象台 気象防災部 防災調査課長	10:30
II 挨拶	仙台管区気象台 台長	
III 連絡事項	仙台管区気象台 気象防災部 防災調査課調査官	
IV 研究発表		

発表持ち時間は1題15分です。時間を厳守願います。  
 第1予鈴が、10分で鳴ります。まとめに入ってください。  
 第2予鈴が、12分で鳴ります。発表を終了し、質疑応答に入ります。  
 終鈴が、15分で鳴ります。質疑応答は終了です。  
 ※発表の際は、最初に調査の概要についてお話しください。

☆：共同研究の発表者

座長：仙台管区気象台 気象防災部 観測課長

	発表者所属	発表者	発表予定時間
			10:45～12:00
1 融雪効果を導入した土壌雨量指数の事例調査	青森	小沢茂	
2 浸水雨量指数の検証	岩手	☆畠山孝浩・舛谷清高	
3 LFMを活用した注警報の運用について	福島	吉田繁・春日一・熊谷浩也・窪田力・☆西村雅人	
4 福島市の降雪事例に関する調査	福島	☆高須健嗣	
5 陸面過程モデルによる葉面湿潤度の推定と検証—いもち病の予測を目指して—	東北大	☆成田裕幸 <sup>1</sup> ・山崎剛 <sup>1</sup> ・菅野洋光 <sup>2</sup> ・大久保さゆり <sup>3</sup> (1: 東北大学大学院理学研究科、2: 農研機構中央農業総合研究センター、3: 農研機構東北農業研究センター)	

【休憩】

12:00～13:00

座長：仙台管区気象台 気象防災部 予報課長

		発表者	発表予定時間
			13:00～15:45
6 [平成27年9月関東・東北豪雨] 栃木・茨城県に大雨をもたらした総観スケールの環境場の特徴について	気象研	☆津口裕茂・加藤輝之	
7 平成27年9月関東・東北豪雨の事例解析	宮城	廣川康隆・高野健志・☆丹原 裕・吉田洋一・加藤 廣	
8 2014年7月9日から10日の大雨について（第2報）	山形	大張絵美	
9 平成27年7月22日の大雨の事例解析	山形	上野純一	
10 2014年10月16日東通村で発生した突風に関する調査	青森	坂中仁	
11 高密度な観測網を用いた庄内平野の大雪検証	山形	阿曾知子	
12 宮古の最高気温ワークシートの検証（その1）	岩手	☆秋元銀河・藤井政志・田ノ下潤一	
13 横手の最低気温予想ワークシートの検証と改善	秋田	久慈文男	
14 2013年5月13日の仙台山形の気温差について	東北大	☆岩場遊・岩崎俊樹	
15 宮城県の西風暴風の予測手法改善に向けた調査	宮城	☆高野健志・加藤廣・山中 力	
16 従来型観測のみを用いた日本域長期領域再解析システムの構築に向けて	東北大	☆福井真 <sup>1,2</sup> ・岩崎俊樹 <sup>1</sup> ・瀬古弘 <sup>2</sup> ・斉藤和雄 <sup>2</sup> ・国井勝 <sup>2</sup> (1: 東北大学大学院理学研究科、2: 気象研究所)	

【休息】

15:45～16:00

座長：仙台管区気象台 気象防災部 地球環境・海洋課長

		発表者	発表予定時間
			16:00～17:15
17 特定温位面以下の寒気の蓄積と放出	東北大	☆菅野湧貴・Muhammad Rais Abdillah・岩崎俊樹	
18 東北地方の雲量と全天日射量の推移についての継続調査	青森	佐々木駿	
19 水産関係機関と連携した沿岸水温予測技術の開発	宮城	中村辰男・☆金子秀毅・齊藤和幸・中村 寛	
20 岩手県大船渡市綾里における温室効果気体の変動と気象状況について	仙航	古積健太郎	
21 カナダ・チャーチルにおける大気中CH <sub>4</sub> 濃度とその炭素・水素同位体比の変動	東北大	☆藤田遼 <sup>1</sup> ・森本真司 <sup>1</sup> ・梅澤拓 <sup>2</sup> ・石島健太郎 <sup>3</sup> ・Prabir Patra <sup>1,3</sup> ・Doug Worthy <sup>4</sup> ・青木周司 <sup>1</sup> ・中澤高 <sup>1</sup> (1: 東北大学大学院理学研究科附属大気海洋変動観測研究センター、2: 国立環境研究所、3: JAMSTEC、4: Environment Canada)	

V 懇親会（於、仙台第3合同庁舎 地下食堂）

開始予定 18:30